

みんなの党は

小齊 太郎 こさいたろう を

東京都第一区支部長(千代田区・港区・新宿区)に選任



はじめまして。小齊太郎と申します。

平成7年より港区議会議員を務めて参りましたが、この度、みんなの党 東京都第一区支部長に就任し、国政改革を目指します。よろしくお願ひ申し上げます。

去る8月30日、みんなの党に公募申請し、書類選考、江田憲司幹事長、渡辺喜美代表の面接選考を経て、10月8日に東京第一区支部長に就任いたしました。

地盤、かばん、ともになし。かろうじて、「みんなの党」という看板を掲げ、走り出します。また、東京第一区の現職代議士はともに、大臣あるいは大臣経験者の大物。現時点でその背中は見えませんが、敵に不足はありません。金も知名度もない私は、みんなの党と政治改革・行政改革の旗を掲げて、全力で前進いたします。

ぜひとも、皆様にご賛同頂き、私とともに戦って頂きたい、心よりお願ひ申し上げます。

小齊太郎

小齊太郎が代表面接で訴えたこと(要旨)

公募最終面接の際、渡辺代表に伝えた内容の要旨を下記に掲載します。国政を目指す理由の一端を述べています。

フィールドは小さいものの、私はこれまで港区政に関わり、行政改革に取り組んできた。新党さきがけから無所属の立場で活動してきたが、みんなの党の目指すものと方向は同じ。

天下りの禁止や、事業の統廃合や、職員数・人件費の削減も港区で訴え続けているが、地方単体で実現させるには大きな壁がある。

地方の政治はもちろん大切。しかし、12年あまり関わってきて、官主導の政治は日本の政治風土を変革しなければ、官尊民卑の風土を変えなければ、如何ともしがたい。それができるのは、みんなの党しかない。

例えば、港区政には豊かすぎる税金があるが、財布に入った金はすべて使い切る体質。6年前、区長選挙に挑み、住民税減税を訴えたが、及ばず次点落選となった。その後の体制は、減税を取り入れる気は全くない。それどころか、使い切って、6年間で1380億円の箱モノ建設計画に邁進である。

これは、役所の財布に金がなくなったら借金、それでもだめなら

増税で金をよこせという、今の国政と根は同じ。これが今の政治の姿であり、私はこれを変えたい。変えるには、みんなの党が主張する徹底的な行政改革だ。

私は、破たん確実な公共駐車場経営をする第三セクターを波及し続け解散させたこと、一食2500円の直営学校給食の民間委託化を実現させたこと、密室の保育園入所判定を透明化させるための基準見直しを実現させたことなど、行政主導の政治を変えるために重ねてきた行動、経験を、みんなの党の一員として、国政改革に活かしたい。

私は、さきがけ時代からこれまで、田中秀征先生から政治の本質を学び続けている。また、昨年からは地域主権型道州制協議会の港区支部長として、同志とともに歩み、その実現を目指している。これら、学び続けてきたことを、国政の場で展開していきたい。

私は、みんなの党のアジェンダ達成が日本に必要なだと確信する。そのために、私の政治活動の原点である東京第一区で、国政参画に挑戦したい。

小齊太郎の略歴

現在、港区議会議員、

みんなの党東京都第一区支部長

1970年(昭和45年)1月16日 東京・渋谷区生まれ。

渋谷区立千駄ヶ谷小学校、私立早稲田中学・高等学校を経て、1993年(平成5年)早稲田大学社会科学部卒業。

港区には、1983年(昭和58年)南青山に転入。

都議会議員秘書・代議士秘書として勤務後、

1995年(平成7年)港区議会議員選挙に立候補。最高位当選、以降連続四期。その間、2004年(平成16年)港区長選挙に立候補するも、次点落選のため、三年間の浪人生活を経験。地元の皆さんとともに、消防団活動、町会・商店会活動、青少年地区委員会活動等にも積極参画してきた。

お気軽にメールを → taro@kosaioffice.com

ホームページは → <http://www.kosaioffice.com/>

「twitter」始めました フォローお待ちしております → [taro_kosai](https://twitter.com/taro_kosai)

